

特定鳥獣（ヤクシカ）保護管理検討委員会の検討経過

1 検討委員会の開催状況

- ・平成 23 年度検討委員会

開催日：平成 24 年 1 月 6 日（金）

場 所：かごしま県民交流センター 東棟 4 階 小会議室第 2

議 事：特定鳥獣（ヤクシカ）保護管理計画の策定について

特定鳥獣（ヤクシカ）保護管理計画（案）について

特定計画資料について（個体数シミュレーション，調査モニタリング）

- ・平成 25 年度検討委員会

開催日：平成 26 年 1 月 16 日（木）

場 所：屋久島環境文化村センター（レクチャー室）

議 事：特定鳥獣（ヤクシカ）保護管理計画の検証について

捕獲数及び農林業被害の推移について

平成 24 年度モニタリング調査結果について

個体数管理における課題と今後の方針について

平成 25 年度モニタリング調査について

2 検討会における主な検討内容

	平成 23 年度	平成 25 年度
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現状での推定個体数の確認と、鹿児島県提案の北部、北東部、南東部、南部、西部、中央部の 6 ブロックによる地域個体群ごとの捕獲管理と検証。 ・捕獲頭数については、現状立ち上がりとしては捕獲数が増加したが、今後より多くの捕獲を進める必要があることとその手法について。 ・個体数の推定について、現状での分析を前提に推移を見守る。 ・効果的な捕獲を行う地域として、林道沿い、低地の民有地での捕獲を進める一方で、生態系被害地域での捕獲の検討について。 	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲が進んだことにより一方で、国有林境界などでは増加地点が目立ち、増加率が増えている可能性についての示唆。 ・個体群の増加減少のパラメータ化と検証の必要性。 ・民有地での農業被害の減少と複層林化等により以前から極小化している林業被害についての確認。 ・より広域での捕獲圧をかけることの必要性と手順の検討。 ・西部地域等捕獲が行われていない地域について、研究者やエコツアーなど多様な利用が存在する一方で、影響を考慮し、捕獲を具体的に進める必要がある。 ・スマートデア対策についての共通認識とそれを発生させないシステムの検討。 ・猟友会による国有林捕獲については境界よりやや踏み込んだ地域での調整が行われている。 ・捕獲後の処理問題と肉等の利用などアウトプット問題について、焼却施設の受け入れ限界と、屋久島町では猟友会有志を中心として鹿肉利用の動きが出てきており、行政の支援も検討されている（現在進行中）。 ・西部、中央部での捕獲の進め方について、関係諸機関、地元猟友会などで連携して進めて行く必要がある。 ・猟友会の力は重要である故、狩猟者のコンプライアンスなどについても問題が生じないよう、徹底する必要がある。